

「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」

評 価 基 準

(品質・性能等の評価に関する事項)

令和7年版

評価対象材料名
細 目

クローザ類

- ① ドアクローザ
- ② ヒンジクローザ
- ③ フロアヒンジ

一般社団法人 公共建築協会

評価基準の説明 【クローザ類 ①ドアクローザ】

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版16章8節に規定する建具用金物のうちのドアクローザとする。

2. 引用している規定

(1) 標仕 令和7年版

(2) 日本産業規格

- ・ JIS A 1510-2 : 2019 「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」
- ・ JIS A 1510-3 : 2001 「建築用ドア金物の試験方法—第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ」
- ・ JIS K 2269 : 1987 「原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法」

3. 令和6年度版からの主な改定

- ・ なし

4. その他

(1) 赤字は、令和6年版からの改定箇所を示す。

項目		品質・性能		備考																																							
材料	見え掛り部の材質	本体	アルミニウム合金製																																								
		アーム部	鋼製（焼付け塗装）																																								
性能	初期性能	閉じモーメント・効率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Grade</th> <th>番手</th> <th>閉じモーメント (N・m)</th> <th>効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">Grade1</td> <td>1</td> <td>9 以上</td> <td>45 以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>13 以上</td> <td>50 以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>18 以上</td> <td>55 以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>26 以上</td> <td rowspan="2">60 以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>37 以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>54 以上</td> <td>65 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">Grade2</td> <td>1</td> <td>5 以上</td> <td rowspan="2">30 以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15 以上</td> <td>35 以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25 以上</td> <td>40 以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35 以上</td> <td rowspan="2">45 以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1)パラレル取付けは、上記の閉じモーメントの70%程度までとする。 2)コンシールド型は、上記の閉じモーメントの50%程度までとする。</p>	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	Grade1	1	9 以上	45 以上	2	13 以上	50 以上	3	18 以上	55 以上	4	26 以上	60 以上	5	37 以上	6	54 以上	65 以上	Grade2	1	5 以上	30 以上	2	10 以上	3	15 以上	35 以上	4	25 以上	40 以上	5	35 以上	45 以上	6	45 以上	
		Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																																						
		Grade1	1	9 以上	45 以上																																						
			2	13 以上	50 以上																																						
			3	18 以上	55 以上																																						
			4	26 以上	60 以上																																						
5	37 以上																																										
6	54 以上		65 以上																																								
Grade2	1	5 以上	30 以上																																								
	2	10 以上																																									
	3	15 以上	35 以上																																								
	4	25 以上	40 以上																																								
	5	35 以上	45 以上																																								
	6	45 以上																																									
閉じ速度	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。																																										
温度依存性 (緩衝油の流動点) (℃)	-15 以下																																										
ストップ力 (N・m) (機能を有する機種のみ)	入力: 60 以下 (ただし、コンシールド型は 200 以下) 解除力: 8 以上																																										
バックチェック機能 (機能を有する機種のみ)	ドア開扉方向に荷重 60N/m ² を、開扉 50° から負荷すること。バックチェック開始角度 (70~85°) から、さらに 20° まで開く間の時間は、0.8 秒以上とすること。																																										
ディレードアクション機能 (機能を有する機種のみ)	開扉 90° の位置からディレードアクション解除角度 (60~75°) までの時間が 10 秒以上確保できること。また、その時間の調整が可能であること。																																										

項目		品質・性能				備考	
性能(続き)	耐久性 (繰返し開閉試験後の性能)	閉じモーメント・効率	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	注1) パラレル取付けは、上記の閉じモーメントの70%程度までとする。 2) コンシールド型は、上記の閉じモーメントの50%程度までとする。
			Grade1	1	9以上	45以上	
				2	13以上	50以上	
				3	18以上	55以上	
4	26以上			60以上			
5	37以上						
6	54以上			65以上			
Grade2	1		5以上	30以上			
	2		10以上				
	3		15以上	35以上			
	4		25以上	40以上			
	5		35以上	45以上			
	6	45以上					
	閉じ速度	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。					
	バックチェック機能 (機能を有する機種のみ)	ドア開扉方向に荷重60N/m ² を、開扉50°から負荷すること。バックチェック開始角度(70~85°)から、さらに20°まで開く間の時間は、0.8秒以上とすること。					
	ディレードアクション機能 (機能を有する機種のみ)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度(60~75°)までの時間が10秒以上確保できること。また、その時間の調整が可能であること。					
外観・機能	製品および付属品の形状	全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。					
	機能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。					
	ストップ装置の機能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。					
	取付け部品	必要な取付け部品が付属していること。					
試験方法	1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3の「5.試験の一般条件」、「6.1試験の概要」および「6.2試験装置」による。 2. 閉じモーメント(閉じ力)測定、効率の計算、閉じ速度測定、ストップ力測定、バックチェック機能測定およびディレードアクション機能測定は、JIS A 1510-3の「6.3.2ドアクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性(流動点試験)は、JIS K 2269による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3の「6.3.2ドアクローザの開閉試験」による。 5. 初期性能の測定のための繰返し開閉回数は、閉じモーメント(閉じ力)測定、効率の計算、閉じ速度測定については、5000回、ストップ力測定、バックチェック機能測定、ディレードアクション機能測定については、50回とする。 6. 耐久性の測定のための繰返し開閉回数は、Grade1は50万回、Grade2は20万回とする。 7. 試験体は、申請品のうち、パラレル型(汎用品)とし、当協会と協議のうえ選定する。 8. バックチェック機能およびディレードアクション機能は、別途の試験体で各々の試験を行う。 9. 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。						

評価基準の説明 【クローザ類 ②ヒンジクローザ】

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版16章8節に規定する建具用金物のうちのヒンジクローザとする。

2. 引用している規定

(1) 標仕 令和7年版

(2) 日本産業規格

- ・JIS A 1510-2 : 2019 「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」
- ・JIS A 1510-3 : 2001 「建築用ドア金物の試験方法—第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ」
- ・JIS K 2269 : 1987 「原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法」

3. 令和6年度版からの主な改定

- ・なし

4. その他

(1) 赤字は、令和6年版からの改定箇所を示す。

評価基準

クローザ類 ②ヒンジクローザ

1

項目			品質・性能			備考																			
材料	見え掛り部の材質	丁番形	鋼製 (焼付け塗装)																						
		ピボット形	カバー部	ステンレス製																					
			本体	鋼製																					
性能	初期性能	閉じモーメント・効率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番手</th> <th>閉じモーメント (N・m)</th> <th>効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5 以上</td> <td rowspan="2">30 以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15 以上</td> <td>35 以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25 以上</td> <td>40 以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35 以上</td> <td rowspan="2">45 以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45 以上</td> </tr> </tbody> </table>			番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	1	5 以上	30 以上	2	10 以上	3	15 以上	35 以上	4	25 以上	40 以上	5	35 以上	45 以上	6	45 以上	
			番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																				
	1		5 以上	30 以上																					
	2		10 以上																						
	3		15 以上	35 以上																					
4	25 以上		40 以上																						
5	35 以上	45 以上																							
6	45 以上																								
閉じ速度	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。																								
温度依存性 (緩衝油の流動点) (℃)	-15 以下																								
ストップ力 (N・m)	入力: 100 以下 解除力: 3 以上																								
耐久性能 (繰返し開閉試験後の性能)	閉じモーメント・効率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番手</th> <th>閉じモーメント (N・m)</th> <th>効率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5 以上</td> <td rowspan="2">30 以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15 以上</td> <td>35 以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25 以上</td> <td>40 以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35 以上</td> <td rowspan="2">45 以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45 以上</td> </tr> </tbody> </table>			番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	1	5 以上	30 以上	2	10 以上	3	15 以上	35 以上	4	25 以上	40 以上	5	35 以上	45 以上	6	45 以上		
		番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)																					
1		5 以上	30 以上																						
2		10 以上																							
3		15 以上	35 以上																						
4		25 以上	40 以上																						
5	35 以上	45 以上																							
6	45 以上																								
閉じ速度	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。																								
外観・機能	製品および付属品の形状		全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。																						
	機能		ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。																						
	ストップ装置の機能		ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。																						
	取付け部品		必要な取付け部品が付属していること。																						

項目	品質・性能	備考
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3の「5. 試験の一般条件」、「6.1 試験の概要」および「6.2 試験装置」による。 2. 閉じモーメント（閉じ力）測定、効率の計算、閉じ速度測定およびストップ力測定は、JIS A 1510-3の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。 3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269による。 4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3の「6.3. 1 フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。 5. 初期性能の測定のための繰返し開閉回数は、閉じモーメント（閉じ力）測定、効率の計算、閉じ速度測定については、5000回、ストップ力測定については、50回とする。 6. 耐久性能の測定のための繰返し開閉回数は、10万回とする。 7. 試験体は、申請品のうちから、1. 丁番型、2. 持出し吊り込み型、3. 中心吊り込み型の優先順位を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。 8. 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。 	

評価基準の説明 【クローザ類 ③フロアヒンジ】

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版16章8節に規定する建具用金物のうちのフロアヒンジとする。

2. 引用している規定

(1) 標仕 令和7年版

(2) 日本産業規格

- ・ JIS A 1510-2 : 2019 「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」
- ・ JIS A 1510-3 : 2001 「建築用ドア金物の試験方法—第3部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ」
- ・ JIS K 2269 : 1987 「原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法」

3. 令和6年度版からの主な改定

(1) 内容の見直し

- 「初期性能」および「耐久性能（繰返し開閉試験後の性能）」の「戸の閉鎖位置」の規定について、測定位置が不明確のため、変更

4. その他

(1) 赤字は、令和6年版からの改定箇所を示す。

項目		品質・性能				備考	
材料	見え掛り部の材質	カバー部	ステンレス製				
		本体	鋼製				
性能	初期性能	閉じモーメント・効率	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
			Grade1	1	9 以上	45 以上	
				2	13 以上	50 以上	
				3	18 以上	55 以上	
				4	26 以上	60 以上	
	5			37 以上			
	6			54 以上	65 以上		
	Grade2		1	5 以上	30 以上		
			2	10 以上			
			3	15 以上	35 以上		
4			25 以上	40 以上			
5		35 以上	45 以上				
6	45 以上						
	閉じ速度	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。					
	温度依存性 (緩衝油の流動点) (°C)	-15 以下					
	ストップ力 (N・m)	入力: 100 以下 解除力: 10 以上					
	戸の閉鎖位置	軸心から 1000mm の位置に換算し、± 3mm 以内					
性能	耐久性能 (繰返し開閉試験後の性能)	閉じモーメント・効率	Grade	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
			Grade1	1	9 以上	45 以上	
				2	13 以上	50 以上	
				3	18 以上	55 以上	
				4	26 以上	60 以上	
	5			37 以上			
	6			54 以上	65 以上		
	Grade2		1	5 以上	30 以上		
			2	10 以上			
			3	15 以上	35 以上		
4			25 以上	40 以上			
5		35 以上	45 以上				
6	45 以上						
	閉じ速度	常温 (5~35℃) 無風状態において、開扉 (70°) から全閉 (0°) までの時間を 5~8 秒に調整できること。					
	戸の閉鎖位置	軸心から 1000mm の位置に換算し、± 6mm 以内					

項目		品質・性能	備考
外観・機能	製品および付属品の形状	全体の形状が正しく、傷がなく、機能および耐久性を減ずるような欠陥がないこと。	
	機能	ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができること。	
	ストップ装置の機能	ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられること、また外せるものとする。	
	取付け部品	必要な取付け部品が付属していること。	
試験方法	<p>1. 試験の条件等は、JIS A 1510-3の「5.試験の一般条件」、「6.1試験の概要」および「6.2試験装置」による。</p> <p>2. 閉じモーメント（閉じ力）測定、効率の計算、閉じ速度測定、ストップ力測定および戸の閉鎖位置測定は、JIS A 1510-3の「6.3.1フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。</p> <p>3. 温度依存性（流動点試験）は、JIS K 2269による。</p> <p>4. 繰返し開閉試験は、JIS A 1510-3の「6.3.1フロアヒンジ及びヒンジクローザの開閉試験」による。なお、繰返し開閉回数は、Grade1は50万回とし、Grade2は30万回とする。</p> <p>5. 初期性能の測定のための繰返し開閉回数は、閉じモーメント（閉じ力）測定、効率の計算、閉じ速度測定については、5000回、ストップ力測定、戸の閉鎖位置測定については5000回、ストップ力測定については50回とする。</p> <p>6. 耐久性能の測定のための繰返し開閉回数は、Grade1は50万回、Grade2は30万回とする。</p> <p>7. 試験体は、中心吊り込み（両自由）の汎用品とし、当協会と協議のうえ選定する。</p> <p>8. 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p>		